

乗務員 お盆輸送を前にクッタクタ！ 安全は大丈夫なのか！

記録的な猛暑が続く中で乗務員は、夏季輸送期間に入り旅客が多くなりお盆輸送のピークを迎えようとしています。

しかし、乗務員は猛暑の中での疲れでお盆輸送前に「年休も入らない」「予備は一つ休みの連続、トンボ・ダブルのオンパレード」「運転士と車掌の交互の勤務」と『もはや息切れ』、クッタクタな状態です。

こんなことでお盆輸送が完遂できるのでしょうか。

会社の「基本的な要員を確保している」はウソ！

東一・二運では、今月に入り日別の年休順番が1番・2番でも年休が取得できない状況が続いています。お盆の三が日ならまだしも1番で入らないのであれば、なんのための順番をつけているのでしょうか。

会社は「基本的な要員を配置している」と応えています。基本的な要員がいるのであれば社員に納得できる説明をしてくれるはずですが。

みんなで年休入らない理由を問いただしましょう。正直に入らないのであれば、全社員に告知すべきです。

しかも、このお盆輸送を前にして運転士科の学園に25名が8月9日付けで入っています。会社は、一体何を考えているのでしょうか。

まったく乗務員がクッタクタの状態に乗務労働を余儀なくされている現状も知りつつ放置をしているのが今の会社です。当然、そのような中で些細なミスが多発しています。このミスに対しても要員など度外視して、従来どおり乗務を降ろしての日勤・事情聴取など行ない、挙句の果てに「再教育」を強要されています。このような状態を放置すれば、安全・安定輸送どころではなく重大事故を引き起こしかねません。

緊張感だけで安全は守られない。もっとゆとりを心身の休まる職場環境を創るために声をあげましょう！